



令和 7年 7月号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 大塚 玲華

「絵本は心と言葉を豊かにする」

園長 大塚 玲華

今日から保護者の方にボランティアとしてご協力いただき、絵本の読み聞かせを行なっていただいています。ありがとうございます。

子供園では、毎日絵本の読み聞かせを行なっています。子どもたちは絵本を読んでもらうことが大好き！絵本の絵をよく見て、読んでくれる大人の言葉をじっと聞いています。絵本の絵の面白さ、言葉の面白さ、それらが合わさった絵本の世界の面白さを感じているようです。絵本の読み聞かせを通して、子どもたちは様々なことを感じています。読み聞かせをしてもらっている子どもたちを見てみると、様々な感じたことが表情に表れたり、つぶやきに表れたりしています。

さて、子どもたちは大好きな絵本の読み聞かせで、どんなことを経験しているのでしょうか。

絵本には様々な内容のものが 있습니다。子どもの実体験に近い内容のものから、経験したことのない世界のもの…その中で、絵本に登場する人や動物に気持ちを重ね合わせ、想像したり、新たな世界に出会ったりします。また時には、今まで知らなかった言葉を聞き、言葉のリズムや楽しい言葉、美しい言葉に出会うこともあります。

登場する人や動物などに気持ちを重ね合わせることは、嬉しい、悲しい、悔しいなどの気持ちに触れ、相手の思いを知るきっかけの一つになります。

経験したことのない世界、新たな世界に出会うことで、想像を膨らませる楽しさを感じるようになります。また、子ども自身の興味関心を広げることにもなります。

今まで知らなかった言葉に出会うことで、言葉自体の面白さを感じたり、言葉の感覚を豊かにしたりすることにつながります。

そして、絵本を大好きな大人に読んでもらうことで、読み手と同じ時間、同じ世界を過ごす喜びがあります。「読み聞かせ」と聞くと、子どもが「読んでもらう」ことに注目しがちですが、大人が子どもの興味関心や姿を考えて絵本を選ぶこともあることや、絵本を通して子どもと同じ時間、世界を過ごす、という大人側の経験も考えると、読み聞かせは相互作用をもったコミュニケーションで、子どもにとっても大人にとっても意味があるものなのではないかと思います。

読み聞かせは親子ですることもあるし、子供園のように、同じ学級の友達と一緒に同じ絵本を見たりすることもあります。子供園のように、みんなで絵本を見ることは、友達とワクワクしたり、ドキドキしたり、笑ったり、驚いたり…友達と気持ちを同じにしたり、心を通わせたりする経験につながります。

絵本の読み聞かせは、子どもの想像力や言葉、人との関わりを育むとても大切な時間ですね。

毎週行っている絵本の貸し出しや、もうすぐ始まる夏休みの期間にぜひ、親子でもたくさんの絵本に出会ったり、繰り返し読んだりする楽しさを一緒に味わってください。子供園でも家庭でも、子どもの心や言葉を豊かにしていきましょう。(大人も！)

また、2学期以降も絵本の読み聞かせのボランティアを募集する予定です。こちらもお待ちしています！

・ 今月の指導 ・

うさぎ組

ダンゴムシや柚子の実といった園の自然に親しみをもったり、セロハンテープやのりとの出会いを楽しみながら何かを作ろうとしてみたり、ウレタン積み木で自分なりの場を作ったりと、園の環境に自分から関わろうとしながらやりたいことを見つけています。

学級で集まると楽しいことがあるということも感じるようになってきて、運動遊びやまてまて遊びにもそれぞれのペースで参加してみようとしています。7月は、次のことを重点に指導をしていきます。

- 好きな遊びを見つけ、自分なりに楽しむ。
- 水遊びやプール活動に安心して参加し、水の冷たさや心地よさを味わう。
- 水遊びの準備の仕方がわかり、保育者と一緒にやってみようとする。

やりたい遊びが見つけられるよう、前日に楽しんでいたことを楽しめるような環境作りや、新しい教材との出会いにこわくわくできるような関わりを大切にしています。

晴れた日には、水の心地よさを感じて水遊びを楽しんでいます。

「子供園って楽しい」という気持ちを引き続き大切にしておりますので、ご家庭ではぜひゆったりとお子さんの気持ちを受け止めてください。

ぱんだ組

年長児のごっこ活動「おもしろゆうえんち」に参加したことが、きりん組への憧れの気持ちや「ぱんだ組でも遊園地を作りたい!」といった気持ちにつながっていました。見たことや経験したことを遊びに取り入れ、「こうしたい」という思いをもって作ったり、自分なりに再現しようとしたりする姿が増えています。お客さんとしてきりん組やうさぎ組が来てくれたことも嬉しく、満足感を感じていました。

天気の良い日が多く、水遊びやプールもたくさん楽しんでいます。新聞紙プール、水遊び、プールと段階を経つつ、7月は一人ひとりのペースに合わせて水に親しんでいけるようにしています。7月も、天気の良い日はプールや水遊びを行い、水の気持ち良さや水に触れて遊ぶことの楽しさを感じられるようにしていきます。

- 保育者や気の合う友達と触れ合ったり関わったりして、遊ぶ楽しさを味わう。
- 学級の人々と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 水の感触を楽しみながら、様々な遊びや動きをして、開放感を味わう。

自分のやりたいことなどの思いが多く出てくるようになってきた分、友達と思いが違うことも増えてきました。子どもたち一人ひとりの思いを受け止めつつ、友達の思いに気付けるように関わることで、一緒に遊ぶことを楽しめるように支えています。また、疲れも出やすくなる時期なので、食事・睡眠をしっかりと、元気に遊べるようにお願いいたします。

きりん組

梅雨とは思えない晴天のもと、6月の後半から水遊びやプール遊びをたっぷりと楽しむことができました。担任との水の掛け合いの中で、「みんなで、せーのでやろうよ!」「いいね!」と“みんな”とのつながりを嬉しく感じています。また、普段の遊びの中で、思いついたことを一緒に遊んでいる友達に「〇〇ってというのはどう?」と提案したりそれに応じたりと、友達とやり取りをしながら遊びを進める姿が見られるなど、ごっこ活動を経て、“一緒に遊ぶ”の“一緒に”の捉え方が少しずつ変わってきています。

7月は次のことを重点に指導していきます。

- 「こうしたい」という自分なりのめあてをもち、考えたり試したりしながら遊びを進める。
- 思いや考えを言葉で伝えながら、友達と一緒に遊びを進めていく。
- 水の心地よさや開放感を味わいながら、プール遊びや水遊びを楽しむ。

友達との遊びの中で、思いが共通になることの楽しさを感じ、一緒に遊びを進めていくことを楽しめるようにします。あわせて、自分なりのめあてに向かって考えたり、試したりしながら遊ぶことの楽しさも支えています。

プール活動では、一人ひとりが水の心地よさを感じ、水の中で動くことを楽しむ中で、「次はこれをやってみよう。」と自分のめあてをもって取り組めるようにしていきます。